

重点プロジェクトに係るこれまでの取り組み（R3. 9. 29開催検討会議以降）と今後の予定について

重点プロジェクト	これまでの取り組み	今後の予定
<p>共創のまちぐらし推進プロジェクト</p> <p>○ まちぐらし事業の検討・実施・検証 市民等の創意工夫によるまちぐらしの実現に向けた取組みを進めるための実証実験</p> <p>○ まちを学ぶ場の提供 持続的にまちに関わる人材を育てるための学びと実践の場の提供</p>	<p>1 共創のまちぐらし推進プロジェクト企画会議</p> <p>本プロジェクトの方向性・具体的な取り組みなど、これからの西部地区ならではのまち暮らしの姿を検討・共有してもらおう機会として、西部地区まちぐらし検討会議委員をはじめ、地元事業者や地元団体等が参集して、第2回目の「共創のまちぐらし推進プロジェクト企画会議」を開催した。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【第2回 開催概要】</p> <p>○開催日時：令和3年10月30日（土）</p> <p>○開催場所：函館市地域交流まちづくりセンター</p> <p>○参加者：26名</p> <p>（内容）</p> <p>（1）株式会社はこだて西部まちづくRe-Designの概要等について</p> <p>（2）空き地の利活用について 「大町改良住宅隣空地利活用計画について」</p> <p>（3）共創のまちぐらし推進プロジェクトについて 「重点プロジェクトに係るこれまでの取り組みと今後の予定について」</p> <p>※開催結果は、市のウェブサイトで公開済</p> </div> <p>2 西部地区まちづくりBAR</p> <p>西部地区再整備事業アドバイザーの来函に合わせ、西部地区で様々な活動に取り組んでいる関係者が参集し、西部地区再整備事業の動きと、西部地区の現場の活動を結び付け、より創造的な実践へ発展させていく場づくりを目指して、函館西部まちづくりBAR実行委員会主催（函館市共催）による「函館西部まちづくりBAR vol. 1」が試行開催された。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【開催概要】</p> <p>○開催日時：令和4年1月17日（月）</p> <p>○開催場所：港の庵</p> <p>○参加者：28名</p> <p>（内容）</p> <p>【第1部】話題提供とディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりをめぐる時代背景と雑感（公立はこだて未来大学 田柳教授） ・十字街 臥牛館を中心とする建物再生と「街角 NEW CULTURE」の紹介（(合)富樫雅行建築設計事務所 富樫代表社員） ・西部地区のコミュニティをめぐる課題と活動の紹介（蒲生商事 蒲生常務取締役） <p>【第2部】まちづくりBAR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの分科会に分かれて、ラウンドテーブル式のBAR企画を行い、まちづくりに関する意見交換を行った。 <p>※開催結果は、市のウェブサイトで公開済</p> </div> <p>3 共創のまちぐらし推進プロジェクトにおける進め方等の検討</p> <p>本プロジェクトを主とした重点プロジェクトの進め方等については、エリアマネジメントを実働する株式会社はこだて西部まちづくRe-Designをはじめ、函館市西部地区まちぐらし検討会議座長や各委員および西部地区のまちづくりに関わる関係者など様々な担い手と定期的に協議・検討してきた。</p>	<p>1 「西部地区まちぐらし検討会議」の開催</p> <p>主に重点プロジェクトに掲げる事業の進め方の検討や意見交換等を市民と協働で行う。</p> <p>2 「西部地区まちぐらしシンポジウム」の開催</p> <p>「西部地区ならではのまちぐらしの実現」に向けた、これからの西部地区のまちづくりについて、多様なまちづくり関係者により広く意見交換を行うとともに、その内容を市民と共有することを目的として開催する。</p> <p>3 （仮称）西部まちぐらし共創サロンの開催</p> <p>株式会社はこだて西部まちづくRe-Design等と連携のうえ、「共創のまち育て」をコンセプトに、市民やまちづくりに関わる参加者同士の対話を通して、西部地区の未来を考え共有し、まちぐらしを語り合う場を定期的で開催する。さらに参加者一人ひとりの意見やアイデアを尊重し、今後立ち上がっていく予定のプロジェクトを主体的に運営してもらうことを目指します。</p> <p>4 共創のまちぐらし活動の推進</p> <p>エリアマネジメントを実働する株式会社はこだて西部まちづくRe-Designとの事業連携をはじめ、市民や民間事業者等が主体となったまちづくり活動に対する支援や協力関係の構築など、地域の発意による主体的なまちぐらし活動を推進する。</p>

<p style="text-align: center;">既存ストック活性化プロジェクト</p> <p>○ 不動産データベースの構築 低未利用不動産の所在地・面積・地権者等の情報集約</p> <p>○ 民有の低未利用不動産等の流動化促進 民間実施団体による不動産の取得・仲介等</p> <p>○ 公有の低未利用不動産等の利活用 活用策の検討および地区の活性化に向けた積極的な展開</p>	<p>1 低未利用不動産等の利活用について 公有の低未利用不動産等の利活用として、旧北海道庁函館支庁庁舎について株式会社はこだて西部まちづく R e - D e s i g n から活用意向が示され、文化財および公園を所管する部局と活用に向けた協議を行った。 また、西小・中学校跡地および大町市有地等の活用策について協議・検討を行った。</p> <p>2 低未利用不動産等データベースの更新 低未利用不動産等データベースについて、地権者等との協議が円滑に進められるよう、定期的なデータ更新を行った。</p> <p>3 西部地区再整備事業アドバイザー 都市経営、都市デザイン分野によるアドバイザーより、低未利用不動産等の事業手法等についての助言・意見交換を行った。</p> <p>4 都市再生推進法人の指定について 都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域のまちづくりの中核を担う法人である都市再生推進法人として、株式会社はこだて西部まちづく R e - D e s i g n を指定した。（指定日：令和3年10月11日）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【都市再生推進法人】 都市再生推進法人については、まちづくりに関する豊富な情報・ノウハウを有し、運営体制・人材等が整っている優良なまちづくり団体に公的な位置づけを与え、あわせて支援措置を講ずることにより、その積極的な活用を図る制度であり、市町村や民間デベロッパー等では、十分に果たすことができない、まちのエリアマネジメントの展開など、まちの課題解決を担うものとして期待されるものである。</p> </div>	<p>1 低未利用不動産等の利活用について 【公有不動産】 ・旧北海道庁函館支庁庁舎 株式会社はこだて西部まちづく R e - D e s i g n から活用意向が示され、今後、文化財および公園を所管する部局と活用に向けた手続きを行っていく。 ・西小・中学校跡地 跡地の有益な活用に向けた基本的な考え方や方向性を基に、道営住宅の整備に係る協議および市の活用策の検討を進めるほか、民間による活用策について調査する「サウンディング型市場調査」の実施を検討する。 ・大町市有地 株式会社はこだて西部まちづく R e - D e s i g n から活用意向が示され、今後、エリアの賑わいづくりに貢献する活用策を検討する。</p> <p>2 重点整備街区再整備事業の実施 低未利用不動産等データベースを基に、地権者等との協議を進め、利活用に向けた検討をしていく。</p> <p>3 「西部地区再整備事業アドバイザー」 事業の効果的な推進を図るため、引き続き、都市政策等に関する分野の専門家より、専門的かつ実践的見地から先進事例の紹介や事業手法についての助言等を得る。</p>
<p style="text-align: center;">町会活性化プロジェクト</p> <p>○ 新たな人材との協働による町会活性化の推進 モデル町会と市職員や、学生等の新たな人材との協働による町会活性化のためのプロジェクトの実施等</p>	<p>1 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施 地域コミュニティを支える町会の活性化に向け、弁天町会をモデル町会として、新たな担い手である函館「荘」プロジェクトと市職員および町会が協働で、町会の活性化に必要な方策を検討・実施のうえ、効果の検証等を行っている。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【モデル町会】 弁天町会</p> <p>【新たな人材・担い手】 函館「荘」プロジェクト関係者（代表 下沢杏奈氏） ※北海道教育大函館校地域プロジェクト協力</p> <p>【取り組み内容】 町会館を活動拠点とし、「しゅくだいクラブ」・「スマイルクラブ」と題した、子供向け行事の開催や、暮らしをテーマとしたセミナーの開催など。</p> </div> <p>また、今年度の活動報告会を弁天町会館で行い、活動報告の後、参加者を含めたグループワークにより、来年度への継続した活動に向けた意見交換を行った。</p>	<p>1 新たな人材・担い手との協働による町会運営の活性化に向けた取り組み 新たな人材との協働による町会の活性化に向けた取り組みとして、引き続き、弁天町会と函館「荘」プロジェクトにおける継続的な取り組みを支援。</p> <p>2 モデル町会の選定 令和4年度のモデル町会として、青柳町会を選定し、また、複数の町会や関係団体等と連携して取り組む形にも柔軟に対応する予定。</p> <p>3 町会との意見交換 各町会の定例会議や催しなどに出向き、現状把握を行うとともに、対話を通じ、地域を巻き込んだ協働のまちづくりを推進する。</p>

【開催概要】

○開催日時：令和4年1月16日（日）

○開催場所：弁天町会

○参加者：10名

（内容）

（1）令和3年度スマイルクラブ・しゅくだいクラブの活動報告（わらじ荘）

（2）2班に分かれて、参加者と意見交換

※開催結果は、市のウェブサイトで公開済

2 町会意見交換会

函館市西部地区再整備事業基本方針に定める対象地区の町会を対象に、西部地区再整備事業の内容の共有と西部地区のまちづくりにおける地域課題等の認識を深める場として、意見交換会を行った。

【開催概要】

○開催日時：令和3年11月18日（木）

○開催場所：函館市地域交流まちづくりセンター

○参加者：22名

（内容）

（1）函館市西部地区再整備事業の概要について

（2）株式会社はこだて西部まちづく Re-Design の会社概要等について

（3）意見交換

※開催結果は、市のウェブサイトで公開済